



| たつの市定例記者会見資料 | |
|--------------|---------------------------------------|
| 発表年月日 | 令和4年7月4日（月） |
| 担当課 | 姫新線利用促進・活性化同盟会 （事務局：都市政策部まちづくり推進課） |
| 電話 | 0791-64-3121 |

報道機関各位

JR 姫新線 維持存続及び利便性の向上に係る要望書を国へ提出

西日本旅客鉄道株式会社は、令和4年2月に行った定例会見において、管内路線の中で、大量輸送機関としての鉄道の特性を發揮できないとされる輸送密度が1日2,000人未満の線区17路線30区間を公表し、また同年4月には、同対象線区の区間別収支を発表しました。

沿線住民にとって、通勤・通学・通院等の生活の足として重要な役割を果たしているJR姫新線においては、播磨新宮駅以西の区間がその対象となっています。

鉄道は、市町域を超えて運行する幹線交通機関であり、特に地方部にとっては、地域が存続していくうえで必要不可欠な社会インフラであるため、このたび、国に対し、下記のとおり路線の維持存続に向けたローカル線の支援を求める要望書を提出しました。

今後も、これまで以上に地域が一丸となり、乗車人員の増加、更なる利用拡大に努めていきます。

記

- 1 要望書提出日 令和4年6月30日（木）
- 2 要望書提出先 国土交通省鉄道局
- 3 要 望 者 たつの市、佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会
- 4 要 望 内 容
 - (1) 新型コロナウイルス感染症の影響により経営が悪化している西日本旅客鉄道株式会社に対する経営支援の実施
 - (2) JRローカル線の維持存続、利便性向上に向けた西日本旅客鉄道株式会社への働きかけなどの積極的な関与や支援制度の創設